

蔵王

太を目指して人を師とする

研修委員会 副委員長
渡辺英一郎



研修副委員長の渡辺英一郎です。山辺と河北町のシヨッピングプラザBELと、他に2軒の酒屋を経営しております。倫理をご紹介いただいたのは市村社長です。市村社長が店に来た時点で申込書と口座振替書があつて有無を言わずでした。それ以来倫理では「ハイ」しか言っておりません。

入会して初めてMSに参加した時のこと。強烈な印象でした。心の準備が全く無いままにMSに出てしまい、場がピリピリしたムードに感じたのです。緊張してしまつて朝からとつてもくたびれたので、もう2度と行かないと思ひました。でも、せっかく会費を払っているのだからと思ひ直してもう1回行つてみると、今度はどういふ心境の変化なのか、初回と全然印象が違つていて、とても素晴らしい雰囲気だと思つたのです。初回はやはり行かされたいたのですね。2回目は自分から

進んで行つたのでした。多分その違ひだつたのだと思ひます。

倫理法人会の中心になるいろんな教えがあるのですが、それよりも集まつて来る人たちにすぐく学ぶところが多いです。周りをみて、この人たちは今は倫理というひとつの考え方、ひとつの目的の元に集まつていますが、倫理の勉強だけではなくて、他のことでも何でもできて、いろんなことに成功するのだからなあと思ひます。そういう方々のお話をお聞きしたり行動の様子を見て、自分の至らなさを感じながらもそういう域に行きたいと思ひます。

そういう憧れによつて私もこれまで頑張つてこれたのだと思ひます。中には私の弱さを理解してくださつてくれる方もいらつしやいます。父より引き継いだ借金をありがたいと思ひえる心境に達しておらず、全てを引き上げるための覚悟と努力が足りません。創業者でない分苦勞してない点も多い気がいたします。自分の恵まれた運命をちゃんと認識しておらず、その境遇に心の底から感謝してないのではなから思ふことがあります。そんな社長なので、社員と共に学び一緒に成長し

たいと強く願つています。倫理の良さを少しづつ社員に伝えて、社員ひとりひとりとの結び付きを強くしていきたいと思ひます。

役員は4年目になります。最初はすべきことが良く判らず他人任せでしたが、いろんなことを体験する中で、少しづつ貢献できるよふになりました。この会は「やれつ」と言われたらまず「やってみる」ことです。皆さんそう言われていきますし、まさしく頼まれごととは試されごとです。

また、役員になると見えてくる世界もあります。到底理解を得られないような意見でもそれを何とか活かそうとする。ちつちやな芽をぎゅつと潰すのではなくてどうにか形にしようとする。そういう前向き外向きの空気がある世界なのです。そこでの学びはとても素晴らしい経験です。

なぜ朝礼をするのか？たかさんの理由があると思ひますが、朝礼はさあこれから仕事をする

ぞという意識モードになるためのスイッチであるとシンプルに捉えています。当社では日々の朝礼で職場の教養を読んでいきます。また、朝礼研修にも参加しています。徐々に活カ朝礼に近づいてきていますが、会社全体に朝礼の意義が浸透していくにはまだまだ時間がかりそうです。

倫理を中途半端に覚えてきた時期のことです。女房に何とか倫理を解つてもらいたい気持ちがありました。家族の前で自分だけが解つている言葉を披露して、相手の顔が曇つてくるのに気づけば良いのに、逆になんで女房は解んないだらうなあつという時期でした。これは大きな間違いでした。家庭内のいろんな場面でいろんな倫理の言葉が頭の中に浮かんできますが、今は倫理については無理に家族に解つてもらおうとは思ひません。全ては自分の言葉と行いが変わることではないのですから。

6月のMS

- 6月4日(土) 第362回
『出会いに感謝』
講師：千葉県倫理法人会
監査 引地素久 様
- 6月11日(土) 第363回
『元氣発信！祭りの中の四方山話』
講師：(株)アスク
代表取締役 河合克行 様
- 6月18日(土) 第364回
『本物と心 心と絆』
講師：観光カリスマ工藤事務所
代表 工藤順一 様
- 6月25日(土) 第365回
『絆は人を強くする』
講師：(社)倫理研究所
研究員 内田靖士 様

5月のモーニングセミナー便り

『いのちをつなぐ』

蔵王・女性委員長 外山艶子様

▼漠然と主人の手伝いという気持ちでやってきていた塾。自分が一人になった時、生徒が集まりませんでした。この塾は期待されていない？必要とされていない？という自問自答の中で、自分では一生懸命のつもりでも、芯の無い、力の入らない生活をしていました。▼自分がどういう風に仕事をしたいのか。どういう風にすれば、この主人が創った塾を続けていくことができるのかを自問自答する中、倫理指導を受けて「ご主人が遺した作品をとにかく全部読んでごらんなさい」「わが子のように生徒を慈しみなさい」「自信を持ってやっていくためには気づいたことはすぐすること」と教えていただき、それを心がけてやるようにしました。▼学童保育は小学3年生まで。子どもが小学4年生以上になり預け先に困っている家庭がたくさんあります。そういう家庭の子ども達が集まって、勉強はもちろんのこと、本を読み聞かせたり、畑を使って野菜や果物を作ったり、ケーキを焼いたりと学童保育のようなことも合わせて行う塾を目指すことにしました。それを本気で始めてみて、そういう塾ですと発信をしたら、この塾を必要とする家庭の生徒

が集まってきました。思いだけではないか前に進めないとこころもありますが、親の期待に応えて生徒達に着実な力をつけさせるために、私が勉強させられている毎日です。

『北朝鮮の暮ら』

山形新聞社 代表取締役社長 黒澤洋介様

▼5年前に北朝鮮に行つてまいりました。私はあの国が地球上で最後の秘境だと思つています。▼行つた感想としては国民がかわいそうだというのが第一でしたが、ただあの国の人達から見れば、外国の人や情報に接することが無いために、比較の対象が無いのです。階級社会であることも踏まえれば、日本の江戸時代のようなものなかもしれせん。▼ただし、江戸時代の日本人が皆不幸だったのかという決してそうではありません。あの時代にも素晴らしい文化が開き、人々は娯楽を見つけて楽しくやっています。常設されたサーカスや少年宮殿の子どものたちの笑顔を見ていますと、一概にあの国の人が不幸だと言うわけにはいかないのではないかと、人間の幸福とは一体何なのだろうかと思ひました。

『5つの実践』

北海道・東北方面長 荒木良仁様

▼私は人生の方向を夢で決めたことがあります。実はこれまで自分の人生に関わる大きな夢が3つあったのです。それは、自分が知らない

知識を夢の中で教わったこと、夢の中でアドバイスをもらったこと、そして人生の伴侶を夢の中で決めたことです。▼新しい発明、発見、開発を夢でという事例は結構あるようです。夢で人生が変わった方も多いと聞きます。夢が人生を決めたという事例も記録に残っています。どういう方法を取れば良いのか判っているものが自分の中に備わっているのではないかと思うのです。それが普段の生活の中では気づき、直感と言う形で表れているとすれば、いざという時の直感は物凄く重要になってきます。

『われいまだ木鶏たりえず』

一 双葉山と白鳳 一 柳市村工務店 会長 市村健一様

◎100人MSは75社191名の方がご参加くださいました。講話された市村様には今回のテーマに加えて「信なくば立たず(論語に学ぶ人生訓)」「孫たちへの遺言」「格言集」仕事を楽しむ」と、市村様のこれまでのご講話内容について書かれた冊子を準備していただきました。

▼木鶏は40日で完成しているが、実際は最低10年はかかると思う。石の上にも10年であろう。それも今やっっていることが好きで好きでたまらない、しかも最後には楽しむようになつて本物になる。また、天性の素質がなければならぬ。天性の素質プラス努力である。更に大切なこと

がある。人間にはどうしようもない第三の要素が影響する。それは、その人が負つて生まれた時勢、運勢との合致である。

MS日本一を目指そう!

柳竹原屋本店 会長 山形市蔵王会員 五十嵐勇次

MSの評価について考えてみたいと思います。評価の基準は色々あるかと思いますが、MS参加社数の多寡も一つの指数ではないでしょうか。参加社数については在籍会員数との比率について考えてみますと、当会は現在会員数を一七三社とすると九月は約二五%十二月は約二四%となります。

今後の目標の設定には色々議論のあることと思います。まず北海道・東北方面で第一位、次ぎは日本一を目指そうではありませんか。蔵王はそれを実現する秘めたエネルギーと可能性を持っているものと確信します。

長年MSスリーピングの会員が、或る時倫友に誘われてMSに出席、その後は単会の中心となつて活躍している多くの倫友を拝見してきました。御縁で法人会に入会していただいた事ですので、一人でも多くの「朝の達人になる」仲間をあげようではありませんか。MSのより一層の活性化と退会防止にも繋がります。MS日本一達成を期待致します。